



## 2021年度第Ⅱ期『人権に関わる相談担当者等スキルアップ講座』

開催日		12月16日(木)	1月27日(木)
午前 10:00 ～ 12:00	分野	患者の人権	高齢者
	講座名	かけはし ～ハンセン病回復者との出会いから～	「高齢者の人権について」 ～今日的な問題・課題～
午後 13:30 ～ 15:30	講師	三重テレビ放送 報道制作局長 小川 秀幸(おがわ ひでゆき)	公益財団法人 反差別・人権研究所みえ 理事長 大谷 徹(おおたに とおる)
	内容・講師紹介など	<p>◆概要 ハンセン病に関する取材を、細々とではありますが続けてきて20年が経ちました。この間、三重県出身の方を中心に約40人の回復者にインタビューしてきました。辛い体験や療養所の生活、差別なき社会への思いなどをお聞きしました。その思いを、映像も交えて皆さんにお伝えするとともに、コロナ禍の中、その教訓をどういかしていくのかを考えます。</p> <p>◆講師紹介 1966年伊賀市生まれ。2001年のらい予防法違憲国家賠償請求訴訟判決を機にハンセン病問題に取り組み、回復者の里帰り、戦争とハンセン病、ハンセン病と家族などをテーマに9本のドキュメンタリーを制作。一連の取材でギャラクシー賞や日本民間放送連盟賞などを受賞。また、在日韓国人軍属の戦後補償問題や北川県政の行政改革などを取材。著書に「かけはし」「ローカル局のこころ」など。現在、三重県人権教育研究協議会理事。</p>	<p>◆概要 ・高齢者所在不明問題 ・高齢者の状況 ・高齢者による交通事故 ・少子化の状況 ・認知症高齢者の人権 ・高齢者の人権を守るために</p> <p>◆講師紹介 三重郡明和中学校で教員生活のスタートをきり、2010年3月伊賀市立崇広中学校の校長で退職。38年間中学校の現場一筋で、退職年度は三重県中学校長会の会長を務めた。 2010年4月から(公財)反差別・人権研究所みえの常務理事兼事務局長を2016年6月まで6年2ヶ月間、2016年7月から2020年6月まで4年間理事、2020年7月から理事長に就任。 2014年度から2019年度まで、6年間皇學館大学「人権論」の非常勤講師を勤めた。</p>
2 期	分野	障がい者問題	女性
	講座名	ともに生きるということ ～とりわけコロナ禍の状況下で思うこと～	女性への人権侵害 ～男女平等を阻んでいるもの～
午後 13:30 ～ 15:30	講師	社会福祉士 森本 おりえ(もりもと おりえ)	世界人権問題研究センター 登録研究員 源 淳子(みなもと じゅんこ)
	内容・講師紹介など	<p>◆概要 これまでの相談活動からみえてきた社会の課題や、日々の暮らしの中で、どんなことに困っているのか、どんな社会になると生きにくさが軽減されるのか、昨今のコロナ禍の状況下で思うことをお話します。</p> <p>◆講師紹介 社会福祉士。10年近く津市の障がい者相談機関において 多くの方の相談に関わってきた経験をもつ。</p>	<p>◆概要 今日的課題となっている女性問題の男女平等を阻んでいるものを具体的な例を挙げながら話し、そういう今日的課題を形成してきた歴史的な点にも触れていきます。</p> <p>◆講師紹介 1947年 島根県生まれ 女性学研究者 専門領域 日本の女性問題と宗教 著書 『仏教と性』(三一書房)、『フェミニズムが問う仏教』(三一書房)、『「女人禁制」Q&amp;A』(編著、解放出版社)、『母たちの戦争と平和—戦争を知らないわたしとあなたに』(三一書房)、『自分らしい終末や葬儀の生前準備—「生老病死」を考える』(あけび書房)、『仏教における女性差別を考える』(あけび書房)、『いつまで続く「女人禁制」』(編著、解放出版社)他</p>